

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	心理学		
英文授業科目名	Psychology		
開講年度	2008年度	開講年次	1(2)年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	久野 雅樹		
居室	東1-509		

公開E-Mail	授業関連Webページ
hisano@hc.uec.ac.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>(夜間主コースの「心理学」は、昼間コースの「心理学A」と同様の内容で構成する予定です。) あなたは、自分自身の「心」について、あるいは人間の「心理」一般について、どの程度のことを知っていますか。まず、このような問いを考えてみよう。「そんなことは、よく知っている」と思うかもしれない。「うまく言えないけれども、考えるまでもない」と感じるかもしれない。確かに、誰しも、素朴なレベルにおいては「心理学者」であると言えるし、「心理テスト」「心理占い」「心理ゲーム」等々、「心理」という言葉も、かなり身近で日常的なものです。</p> <p>かくして、心理学ビギナーとはいえ、人間の「心」について様々な知識をもっているはずの「素朴心理学者」である皆さんに、科学としての心理学がどのような成果をあげてきたかについて入門的・概論的な講義をします。そして、自ら考えることを通して、「心」という複雑にして謎の尽きない対象についての見方を豊かなものとしていただきたいと思います。</p> <p>流れとしては、まず、いわゆる「心理テスト」「パーソナリティテスト」について、実習的に学びます。「心理テスト」や「性格」といったテーマは、心理学と聞いて、皆さんがしばしば思い浮かべる(それだけに誤解も多い)トピックですが、そのへんからスタートして、心理学的なものの見方になじんでもらいます。そして、こうしたソフト的なはたらきを実現している、脳、身体、システムの(いわば、ハードウェア的な要素)を視野に入れながら、心のメカニズムについて考えてゆきます。</p> <p>なお、授業においては、受け身的に知識を得るにとどまらず、自らの頭を使っていねいに考えて文章化するための訓練も行います。</p>

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>なし。予備知識は前提としません。柔軟な「心」で履修してください。</p>
--

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

なし。

【教科書等】

特定の教科書は使用しない予定。参考書については随時紹介します。

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

「心理学」（昼間コースの「心理学A」）では心のソフト面の話題としての「性格」と、心のハード面の話題としての「脳」を中心に論じる予定です。「心理学」「心理学A」「心理学B」のいずれも、概論・入門ですが、網羅的、体系的というよりは、オムニバス形式で領域をしばった話題提示をし、日常的な心のはたらきと結び付けて検討します。

以下に、具体的なトピックを示します。

- ・ ガイダンス：心理学の位置づけ
- ・ 時間サイクルからみた人間
- ・ 空間の認識と人間
- ・ パーソナリティの測定
- ・ 質問紙法からみた心
- ・ 心理学的理論の形成と測定
- ・ 心理測定における信頼性と妥当性
- ・ 投影法からみた心
- ・ 心理的な問題をめぐって
- ・ 脳内物質と精神機能
- ・ 遺伝と人間形成
- ・ 価値意識とその認知
- ・ まとめ：自己の成立をめぐって

（主題・目標・内容等については、「心理学B」も参照してください。）

(b) 授業の進め方

毎回、配布資料に基づき講義を行い、ミニレポート等の形で、各自の学習成果をまとめてもらいます。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法

平常点と学期末課題、それぞれほぼ60%、40%のウェイトで総合評価を行います。

(b) 評価基準

平常点は単に出席しているということではありません。どの程度しっかりと授業に取り組み自らの認識を深めたかを問題とします。原則として毎回提出物（多くはミニレポート）があります。提出物には必須

電気通信大学 平成20年度シラバス

のものもありますから注意してください。

学期末課題はレポート（通常，自己について考察する課題）で，内容と形式を総合して評価を行います。

【オフィスアワー：授業相談】

水曜日17:00-18:00のオフィスアワーには，原則として研究室にいます。来室する場合，なるべくメールでアポイントをとるようにしてください（必要があればこの時間以外にも対応します）。

【学生へのメッセージ】

心理学は，テレビや雑誌で見かけるような，いわゆる「心理ゲーム」ではありません。ひとりひとりの心を簡単に見抜けるようになる秘術でもありません。実人生の即効薬でももちろんありません。この心理学の講義も，何か一方的に「うまい話」が聞けるというものではなく，この講義を通してどれほどのものを得るかは，どれほど自らの「心」をはたらかせたかによります（これは心理学に限ったことではありませんが）。

【その他】

ミニレポート要領の資料を必ず受け取ってください。